

現代最高峰のピアニストと、
ミュンヘン、チャイコフスキー世界2大国際コンクールを
制覇したチェロの巨匠が夢の共演!

マリア・ジョアン・ アントニオ・

ピリス&メネセス

デュオ・リサイタル

Maria João Pires &

2013年3月19日(火)7:00PM開演

札幌コンサートホール Kitara 大ホール

S=¥6,500 A=¥5,500 B=¥4,500 (税込)

[車椅子席 ¥3,000 *オフィス・ワンにて取り扱い]

*未就学児童の入場はご遠慮ください。

[11月30日予約・前売開始]

[チケット取扱い]

●Kitaraチケットセンター 011-520-1234

●チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード/186-059)

●ローソンチケット 0570-000-407

*Lコード予約 0570-084-001(Lコード/13319)

●大丸プレイガイド(南1西3) 011-221-3900

●道新プレイガイド 011-241-3871

●JR北海道みどりの窓口・ツインクルプラザ

●イープラス <http://eplus.jp>

[ご予約・お問い合わせ]

オフィス・ワン ☎011-612-8696

[予約受付10:30~18:00土・日・祝日休]

<http://www.officeone.co.jp/>

■主催:オフィス・ワン ■特別協力:TVhテレビ北海道

■後援:札幌市、札幌市教育委員会、北海道新聞社

シューベルト
アルペジオーネ・ソナタ イ短調D.821
F.schubert : Arpeggione Sonata in A minor, D821

ブラームス
3つの間奏曲 Op.117
J.Brahms : 3 Intermezzo Op.117

メンデルスゾーン
無言歌 ニ長調Op.109
F.Mendelssohn : Song Without Words in D major, Op.109

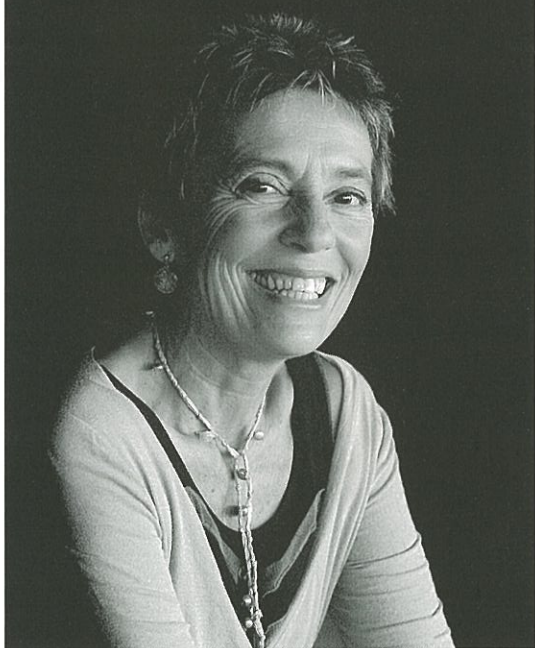
ブラームス
ピアノとチェロのためのソナタ第1番 ホ短調Op.38
J.Brahms : Sonata for Piano & Cello No.1 in E minor, Op.38

*やむをえない事情により曲目が変更となる場合がありますので予めご了承ください。

Maria João Pires & Antonio Meneses Duo Recital

磨き抜かれた技巧と音色、
非凡な構成力と表現力で魅了して止まないピリスの音楽世界と、
円熟の巨匠メネセスが奏でる名器アレッサンドロ・ガリアーノの魂の音色が響き合う!

© Felix Broede/DG



マリア・ジョアン・ピリス (ピアノ) *Maria João Pires, piano*

1944年7月23日リスボンに生まれ、1948年には公開の場で初演奏を行った。ポルトガルにおいて、カンポス・コエリョとフランシース・ブノワに師事。後にドイツにてローゼル・シュミットとカール・エンゲルに師事する。

15年に渡りエラート・レーベルで収録をしてきたが、その後ドイツ・グラモフォンに移籍し、すでに20年間ドイツ・グラモフォンでレコーディング活動を行っている。ピリスは1970年以来、芸術が人生、社会、学校に与える影響の研究に没頭、社会において教育学的な理論をどのように応用させるか、その新しい手法の開発に身を投じてきた。破壊的で、物質優先の論理を強調するグローバリゼーションに対して、個人の成長を尊重する新しいコミュニケーションの仕方を研究した。

その成果のひとつは1999年ポルトガルのベルガイシュでの芸術研究センター設立として結実した。現在この活動は、スペインのサラマンカとブラジルのサルバドールにも拡げている。

また、2005年、「アート・インプレッションズ」という演劇、ダンス、音楽の実験的グループを結成した。

2009年春の日本ツアーでは「ショパン・プログラム」と「ベートーヴェン・プログラム」をチェリスト パヴェル・ゴムツィアコフと共に披露し、絶賛を博した。

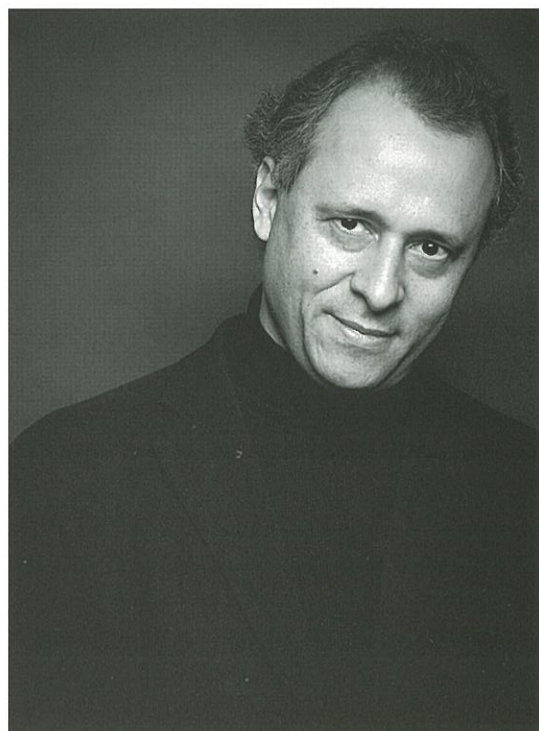
アントニオ・メネセス (チェロ) *Antonio Meneses, cello*

1957年ブラジル生まれ。16歳の時、南米ツアー中のアントニオ・ヤングロと出会い、渡欧。1977年ミュンヘン、1982年チャイコフスキーの両国際コンクールで優勝を果たす。

ベルリン・フィル、コンセルトヘボウ管、ロンドン響、イスラエル・フィル、サンクト・ペテルブルグ響、スイス・ロマンド管、ニューヨーク・フィル等の世界のオーケストラと共演を重ねる。共演した指揮者には、カラヤン、ヤンソンス、アバド、プレヴィン、ブロムシュテット、テミルカーノフ等が挙げられる。

プエルトリコのカザルス・フェスティバル、ザルツブルグ、プラハの春、モーストリー・モーツァルト、カラムーア、タンゲルウッド、ラヴィニアなどの音楽祭に多数招かれる。フェルメール・クアルテット、エマーソン弦楽四重奏団、メナヘム・プレスラー (ピアノ)、マリア・ジョアン・ピリス (ピアノ) 等と度々共演。1998年より解散までの10年間ボザール・トリオのメンバーとして世界ツアーを行う。

録音は、カラヤン指揮ベルリン・フィルで、ブラームスの二重協奏曲、シュトラウスのドン・キホーテをドイツ・グラモフォンから。C.P.E. バッハの3つの協奏曲、ハイドンの協奏曲等をリリース。バッハの無伴奏組曲の再録音、シューベルト、シューマン、メンデルスゾーン、チェロソナタ等があり、プレスラーとのベートーヴェンのチェロソナタ全集は高い評価を得た。



© Marco Borggreve



AIR-G' (FM北海道) のクラシック音楽入門ラジオ番組
「朝クラ!」〈毎週日曜日あさ6:00~6:55放送〉
DJ: 高山秀毅 HIDEKI TAKAYAMA
[mail] asakura@air-g.co.jp